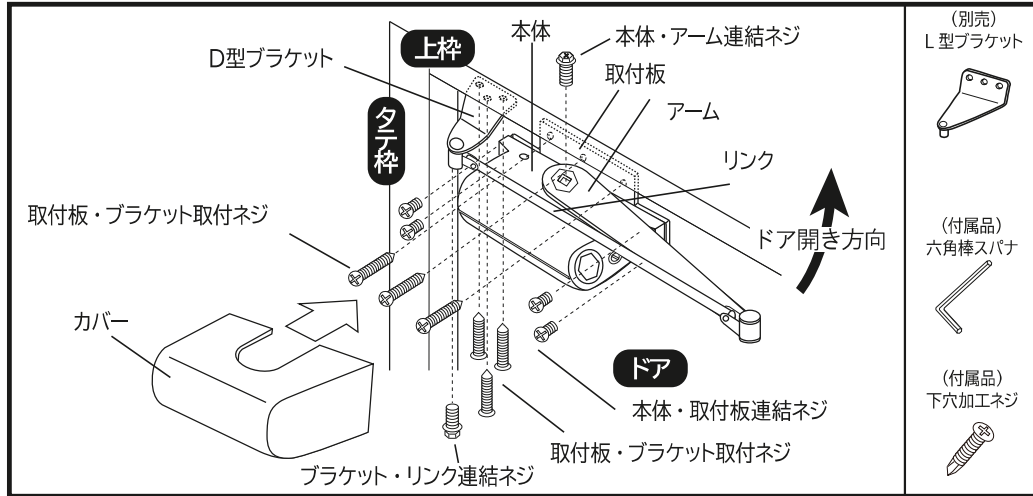
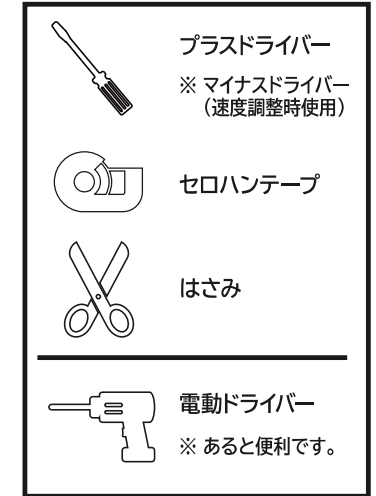


この度は **TRUSCO** インテリアホームクローザーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお読みください。

### 部品名称と組立図



### 取付け工具



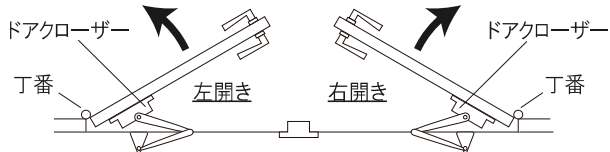
### 取付型紙の選定

上枠の形状	24ミリ以上	20ミリ以下 20ミリ以上	30ミリ以上	24ミリ未満
ブラケット	D型ブラケット (標準品)	D型ブラケット (標準品)	L型ブラケット (別売)	
使用する型紙	左開き用 型紙 No.1 右開き用 型紙 No.1	左開き用 型紙 No.2 右開き用 型紙 No.2	左開き用 型紙 No.3 右開き用 型紙 No.3	
型紙のあてかた	<p>1. 型紙を基準線で谷折りし、ドアと上枠下面にセロハンテープ等で固定し、取付穴位置①②を決めてください。</p> <p>2. 次に、型紙を基準線で谷折りし、上枠下面にセロハンテープ等で固定し、取付穴位置③を決めてください。</p>	<p>1. 型紙を基準線で谷折りし、ドアにセロハンテープ等で固定し、取付穴位置①を決めてください。</p> <p>2. 次に、型紙を基準線で谷折りし、上枠下面にセロハンテープ等で固定し、取付穴位置③を決めてください。</p>	<p>1. 型紙を基準線で谷折りし、ドアにセロハンテープ等で固定し、取付穴位置①を決めてください。</p> <p>2. 次に、型紙を基準線で山折りし、上枠側面にセロハンテープ等で固定し、取付穴位置③を決めてください。</p>	
タテ断面図	谷折り	谷折り	谷折り	
ヨコ断面図	谷折り	谷折り	山折り	
左開き用	左開き用	左開き用	左開き用	左開き用
右開き用	右開き用	右開き用	右開き用	右開き用

# 取付順序 (本説明書は左開き用で記してあります。右開きの場合も同じ要領で取付けてください。)

## 1. ドア開き方向の確認

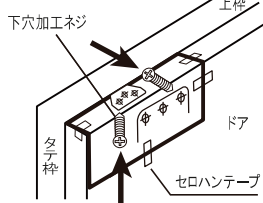
- ・ドアには、左開きと右開きの区別があります。
- ・ドアを押し開く側に立ち、ドアが左に開くと **左開き**、ドアが右に開くと **右開き** となります。
- ・ドアクローザーは、下図のように「押し側」のドア面の「丁番より」に取付けます。



## 2. 型紙選定・取付位置の確認

- ・下記の手順で取付位置を決めてください。

1. ドアを閉じてください。
2. 裏面(取付型紙の選定)を参照し、使用する型紙を選択してください。
3. 選択した型紙を、基準線で折り曲げ、セロハンテープ等で、ドア及び上枠に固定してください。
4. 下穴加工ネジで下穴を加工してください。

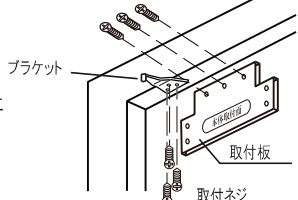


⚠ ・ドアの厚さが28mm以下の場合、ドアに穴が貫通します。加工を調整してください。

## 3. ブラケットと取付板の取付け

- ・下記の手順で取付けてください。

1. リンクからブラケットを取り外し、ブラケットを上枠に取付けてください。
2. 取付板を(本体取付面)の文字が見えるようにドアに取付けてください。

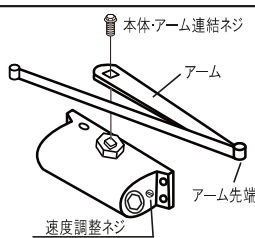


⚠ ・ドアの厚さが28mm以下の場合、ドアの厚さに合わせた短い取付ネジを別途準備して使用してください。

## 4. 本体とアームの組立

- ・下記の手順で組立ててください。

1. 本体の速度調整ネジが、丁番と反対の方向になるよう向けてください。
2. アーム先端を速度調整ネジ側に向け、本体上側の角軸にアームを差し込んでください。
3. 本体・アーム連結ネジでしっかり締め付けてください。  
※ 本体に貼付のシールもご参考ください。

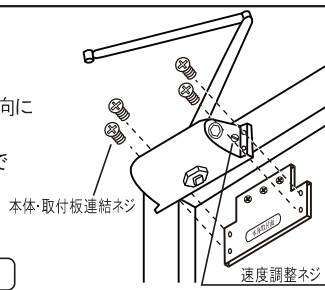


⚠ ・左右開きでアームの組立が異なります。

## 5. 本体の取付け

- ・下記の手順で取付けてください。

1. ドアを閉じてください。
2. 本体の速度調整ネジが、丁番と反対の方向になるよう向けてください。
3. 本体を取付板に、本体・取付板連結ネジで取付けてください。

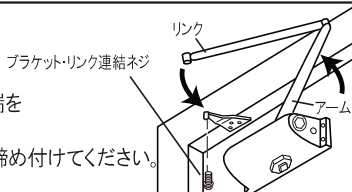


⚠ ・左右開きで本体取付方向が異なります。

## 6. リンクとブラケットの結合

- ・下記の手順で結合してください。

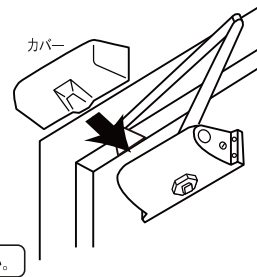
1. ドアを閉じてください。
2. アームを手前に引きながら、リンク先端をブラケットに差し込んでください。
3. ブラケット・リンク連結ネジをしっかりと締め付けてください。



⚠ ・必ずドアを閉じた状態で行ってください。  
・アームを手前に引かないと結合できません。  
・アームを手前に引くには力が必要です。強く引いても動かない場合、本体とアームの組立が間違っていることが考えられます。本体を取り外し再度確認してください。

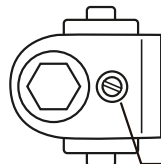
## 7. カバーの取付け

- ・ドアを開閉して、閉じ速度・開閉力を確認してください。
- ・本体にカバーをはめ込んでください。
- ※ カバーをはずすときは、カバーの両サイドをもってゆっくり引き抜いてください。



⚠ ・閉じ速度・開閉力の調整は、下記をご確認ください。

## ドアの閉じ速度の調整方法



- ・工場出荷の際、適正スピードにセットしてありますが、左図の速度(スピード)調整ネジを、次のように操作すると速度の調整ができます。

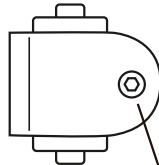
速度(スピード)調整ネジ

⊖) 右(時計回り)にまわすと、閉じ速度は遅くなります。

⊕) 左(反時計回り)にまわすと、閉じ速度は速くなります。

- ・工具の先端を、速度(スピード)調整ネジの溝に確実に合わせて調整してください。
- ・調整には電動工具は使用しないでください。
- ⚠ ・速度(スピード)調整ネジは2回転以上「左」に回さないでください。(油モレ等、故障の原因となります)

## ドアの開閉力調整方法



- ・工場出荷の際、開閉力は最小にセットしてあります。(初めは左に、まわりません)
- ・お部屋やドアの状態により、ドアが閉まりきらない等の場合、次のように操作すると開閉力の調整ができます。

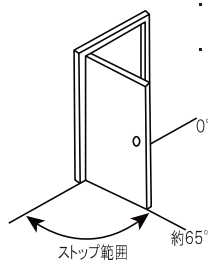
開閉力調整ネジ

⊕) 右(時計回り)にまわすと、開閉力は強くなります。

⊖) 左(反時計回り)にまわすと、開閉力は弱くなります。

- ・開閉力調整ネジは、必ずドアが閉まった状態で調整してください。ドアが開いた状態では、開閉力調整ネジは動きません。無理やり回すとネジが破損するおそれがあります。
- ・調整には付属の「六角棒スパナ」を使用してください。
- ⚠ ・調整には電動工具は使用しないでください。
- ・開閉力調整ネジは最大6回転まわります。
- ・開閉力調整ネジを左右に無理にまわしすぎると破損するおそれがあります。
- ・開閉力を強くしすぎると、ドアの開閉が重く感じられます。

## ストップ機能



- ・ドアを約65° あけるとストップ装置が働き、任意の角度(65° ~ 180°)でドアの開放維持ができます。
- ・ドアを閉める場合は、約65° の位置までドアを戻せば、後は自動的に閉まります。

- ⚠ ・ストップ角度は、丁番により差があります。
- ・ストップの開始角度は変更できません。
- ・ストップ機能を解除することはできません。

弊社では、常により良い製品を目指し、仕様・デザイン・生産技術等、あらゆる面でさまざまな改良を積み重ねております。つきましては、この取扱説明書に記載している仕様は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

総発売元 **トラスコ中山株式会社** お客様相談室 ☎0120-509-849  
<https://www.orange-book.com/> E-mail: techno.center@trusco.co.jp

ご不明な点は、お買い上げの販売店が弊社お客様相談室にご相談ください。  
 ※この取扱説明書の無断転用を禁じます。  
 製造元 有限会社ライフハード



MADE IN CHINA

キリトリ線

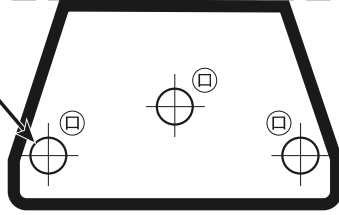
# 取付型紙

左開き

# 左開き用

キリトリ線

ブラケット取付穴



(A)

この基準線を直角に谷折りし、  
㊦面をドアに、㊧面を上枠下面に合わせ、  
取付穴位置 ㊦ ㊧を決めてください。

## 型紙 No.1

基準線

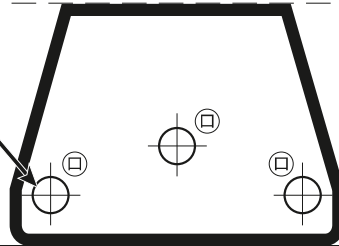


(B)

この端をタテ枠の側面に  
合わせてください。

キリトリ線

ブラケット取付穴

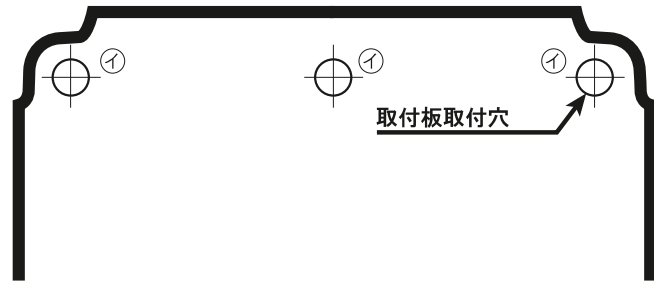


(A)

- ① この基準線を直角に谷折りし、  
㊦面をドアに合わせ、取付板の取付穴位置 ㊦  
を決めてください。
- ② 次に、㊧面を上枠下面に合わせ、ブラケットの  
取付穴位置 ㊧を決めてください。

## 型紙 No.2

基準線

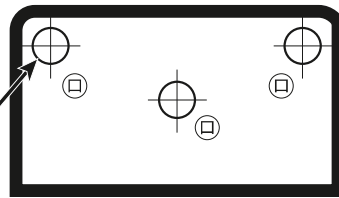


(B)

この端をタテ枠の側面に  
合わせてください。

キリトリ線

ブラケット取付穴



(A)

- ① この基準線を直角に谷折りし、  
㊦面をドアに合わせ、取付板の取付穴位置 ㊦  
を決めてください。
- ② 次に、この基準線を直角に山折りし、  
㊧面を上枠側面に合わせ、ブラケットの  
取付穴位置 ㊧を決めてください。

## 型紙 No.3

基準線



(B)

この端をタテ枠の側面に  
合わせてください。